

第10章 西ノ原遺跡の調査

遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

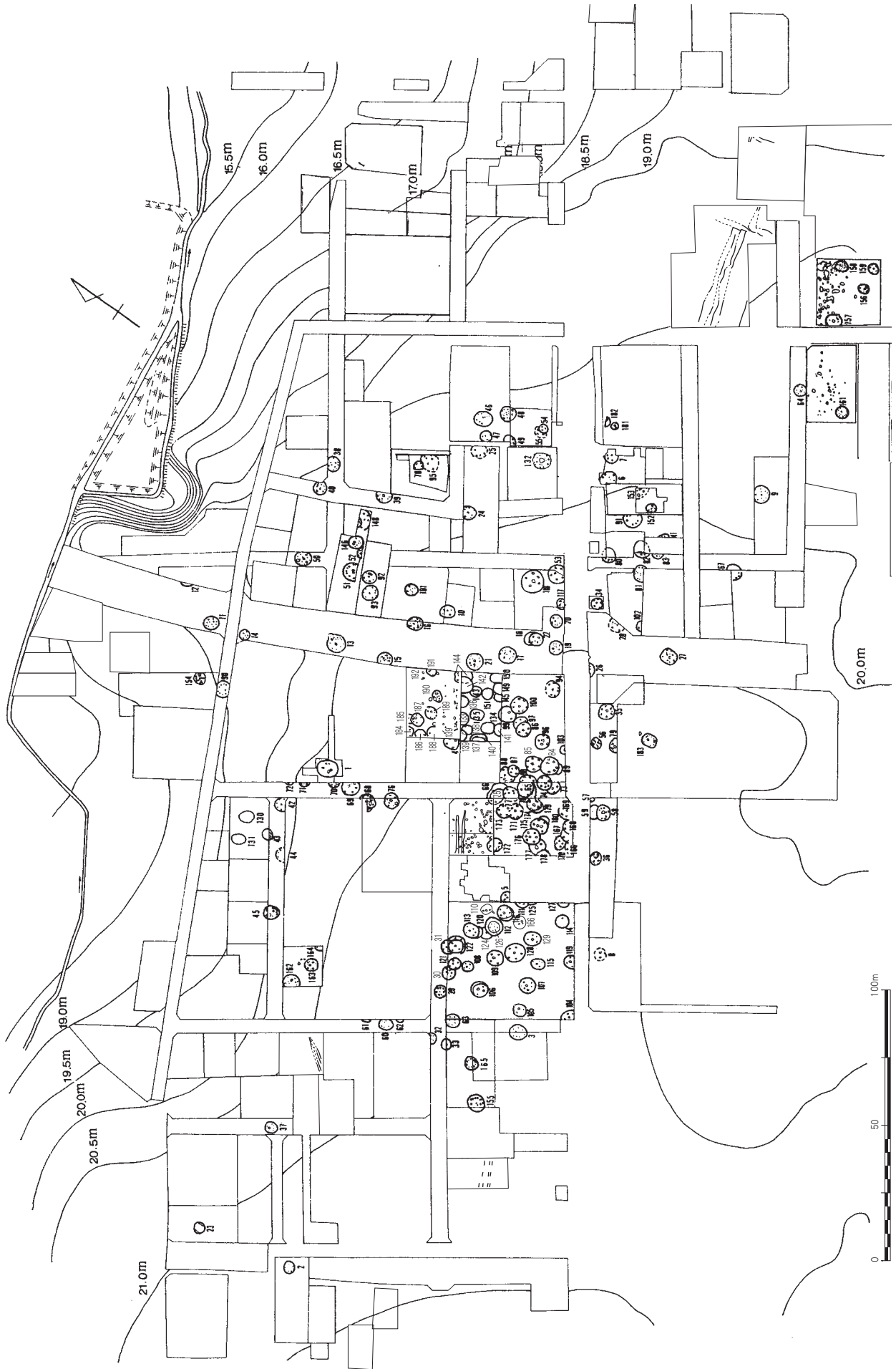
周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東

久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40%が調査されてきている。1971年以来2013年12月現在で158地点に及び調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、180軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。



第48図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)



第49図 西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)

第32表 西ノ原遺跡住居跡一覧表

Table with columns: 住居番号, 調査率, 平面形, 規模, 炉, 煙突, 竈, 掘溝, 備考, 時期, 文献. Contains detailed data for 95 archaeological sites.

Table with columns: 住居番号, 調査率, 平面形, 規模, 炉, 煙突, 竈, 掘溝, 備考, 時期, 文献. Contains detailed data for 191 archaeological sites.

力による表面精査を行った。調査の結果、近世以降の溝2本を検出した。遺構確認面までの深さは約40cmであるが、溝より南側は1m近い深さまで天地返しされていた。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

溝

調査区中央で東西方向の溝を検出した。天地返しされた後に掘削された溝で、北側から南側の溝へ2～3回掘り直されている。全体の上幅は2.8～4m、単体の溝幅は0.7～1.6m程度、表土からの深さは70cmほどである。近世陶磁器が出土する。近世以降の土地境の溝である。

溝出土遺物

1は縄文時代中期の浅鉢口縁部。2は瀬戸・美濃産の太白手染付陶器皿。蛇ノ目凹形高台。19世紀後半。遺構外出土遺物

3はリング状の鉄製品。径26.6mm幅、8.4mm、厚さ2.7mm。4は鉄釘。

西ノ原遺跡第147・148地点

(1) 調査の概要

調査は両地点とも個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年11月18日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部西部に位置し周囲からは縄文時代中期の住居跡を多数検出するため、申請者と協議の結果、両地点合わせて遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は同年12月8日から16日まで、幅約2mのトレンチを2本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、住居跡をはじめピットや土坑等多数の遺構を検出したため申請者と協議した。遺構確認面までの深さ130cm、工事は約30cm掘削であるが、地盤強化の補強杭打ち込みにより遺構の保存が困難なため、補助事業の対応で同年12月17日から翌2011年2月1日まで本調査を行った。縄文時代中期住居跡2軒、集石土坑2基、土坑4基、ピット71基、近世以降溝2条を検出した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

172号住居跡

【位置・形状】147地点調査区の南端に位置する。第128地点で確認した172号住居跡の北半分を検出した。本調査で172号住居跡の全体を検出したことになる。13m東に75号住居がある。

過去調査分を合わせると平面形はほぼ円形を呈する。直径は4.4×5.0m、確認面からの深さ47cmである。

【炉】住居中央部に位置した埋燵炉である。128地点との境界際まで調査したが、炉の北半分のみを検出した。土器は深鉢口縁部が正位に埋設される。炉の径は東西52cm、床面からの深さ18cm、炉体土器内側の覆土に焼土粒は多い。128地点の調査区では、床面に直径26～30cmの焼土面が広がる。

【周溝】上幅20cm前後、下幅12cm前後、床面からの深さ25cmの周溝が、住居跡西側に2.5m検出した。

【柱穴】新たに1基検出し、全体で4基になった。主柱穴と推定できる。

【時期】加曾利E 新式。

75号住居跡

【位置・形状】148地点調査区の南東端に位置する。第49地点・第128地点で確認した75号住居跡の一部を検出した。本調査で75号住居跡の全体を検出したことになる。3軒の住居跡が重複し、本住居(75号)

77号住居 66号住居跡の順に新しくなる。13m西に172号住居がある。

過去調査分を合わせると平面形はほぼ円形を呈する。直径は推定で5.6～6m、確認面からの深さ28cmである。

【炉】住居中央部やや北寄りに位置した埋燵炉である。土器は底部が欠失した深鉢である。

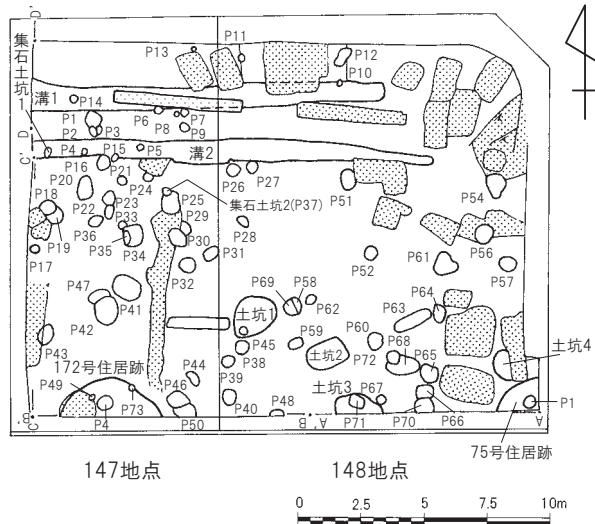
【周溝】上幅40～50cm、下幅10～20cm、床面からの深さ26cmである。

【柱穴】新たに1基検出し、全体で14基になった。主軸方向の炉を挟んだ右側に49地点の調査で検出したP2-P4-P9、左側に今回のP1と128地点のP1が並列し、対になる主柱穴と推定できる。

【時期】勝坂 式。

集石土坑

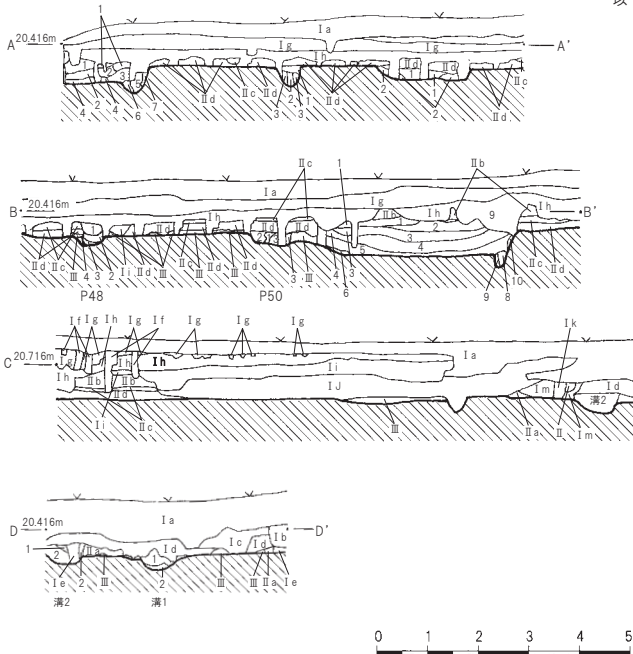
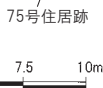
2基検出した。集石土坑1は147地点調査区西端に位置する。溝2によって壊される。加曾利E 新式の深鉢土器片が出土した。時期は出土遺物から縄文時代と思われる。



- 147地点 表土
- I a.黒褐色土 締りやや弱、ローム粒(5mm大)多く含む、ビニール含む、近年の耕作土
 - I b.黒褐色土 締り強、ロームブロック(5~10mm)多く含む、北側のブロック塀造作時の掘り込み
 - I c.黒色土 締り強、大型のロームブロック(1~8cm)やや多く含む
 - I d.黒色土 締り強、ローム粒(5mm以下)僅かに含む
 - I e.黒色土 締り強、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(2mm以下)やや多く含む、トンチャー痕
 - I f.暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む、トンチャー痕
 - I g.暗褐色土 締り有、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む
 - I h.黒色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)・炭化物やや多く含む、調査区南壁付近はロームブロック多くなる
 - I i.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・礫(2cm以下)・炭化物やや多く含む
 - I j.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(7cm以下)・礫(3cm以下)多く含む、ビニール含む (I i~I jは西側隣地を調査した際の埋戻し土と思われる)
 - I k.黒色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)少し含む
 - I l.黒褐色土 締り強、粘性有、灰色味有り、ロームブロック(5mm大)少し含む
 - I m.黒褐色土 締り強、粘性有、ソフトロームブロック(5~10mm)多く含む
- 旧耕作土
- II a.黒褐色土 締り強、ロームブロック(1cm)少し、ロームの細粒(1mm以下)やソフトローム土をやや多く含む
- 遺物包含層
- II b.黒色土 締り強、粘性有、焼土(2mm以下)僅かに含む
 - II c.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(0.5mm以下)僅かに含む
 - II d.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含む、ローム粒・焼土(0.5mm以下) 僅かに含む

147地点

148地点



- 土坑3
- 1.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ハードロームブロック(5~15mm)少し、うっすら斑状にローム土を多く、ローム粒・炭化物(1mm以下)少し含む
 - 2.暗黄褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~30mm)少し含む
- 溝1
- 1.黒褐色土 締り強、ロームブロック(1~1.5cm)少し、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
 - 2.黒褐色土 締り強、ロームブロック(1~4cm)やや多く、ロームの細粒(1mm以下)多く含む
- 溝2
- 1.黒色土 締り強、ローム粒(5mm以下)少し含む
 - 2.黒褐色土 締り強、ロームブロック(5~15mm)・ローム粒(3mm以下)多く含む
- ピット48(焼土含む)
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、焼土(2mm以下)やや多く含む
 - 2.暗褐色土 締り強、粘性有、焼土(3mm以下)やや多く含む
 - 3.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm大)多く、焼土(2mm以下)少し含む、斑状に黒褐色土含む
 - 4.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)・焼土・炭化物(1mm以下)少し含む(III層下に潜り込むような堆積)

172号住居跡

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(1mm以下)少し含む
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
- 3.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む、遺物を多く伴う、焼土・炭化物(2mm以下)僅かに含む
- 4.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く、ロームブロック(5~30mm)・炭化物(3mm以下)少し、焼土(2mm以下)僅かに含む
- 5.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く、ロームブロック(1~4cm)・炭化物(3mm以下)少し含む
- 6.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)やや多く、焼土・炭化物(2mm以下)少し含む
- 7.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm大)・ローム粒(5mm以下)少し含む
- 8.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
- 9.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~30mm)やや多く含む
- 10.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にロームブロックを多く含む

172号住居跡 ピット4

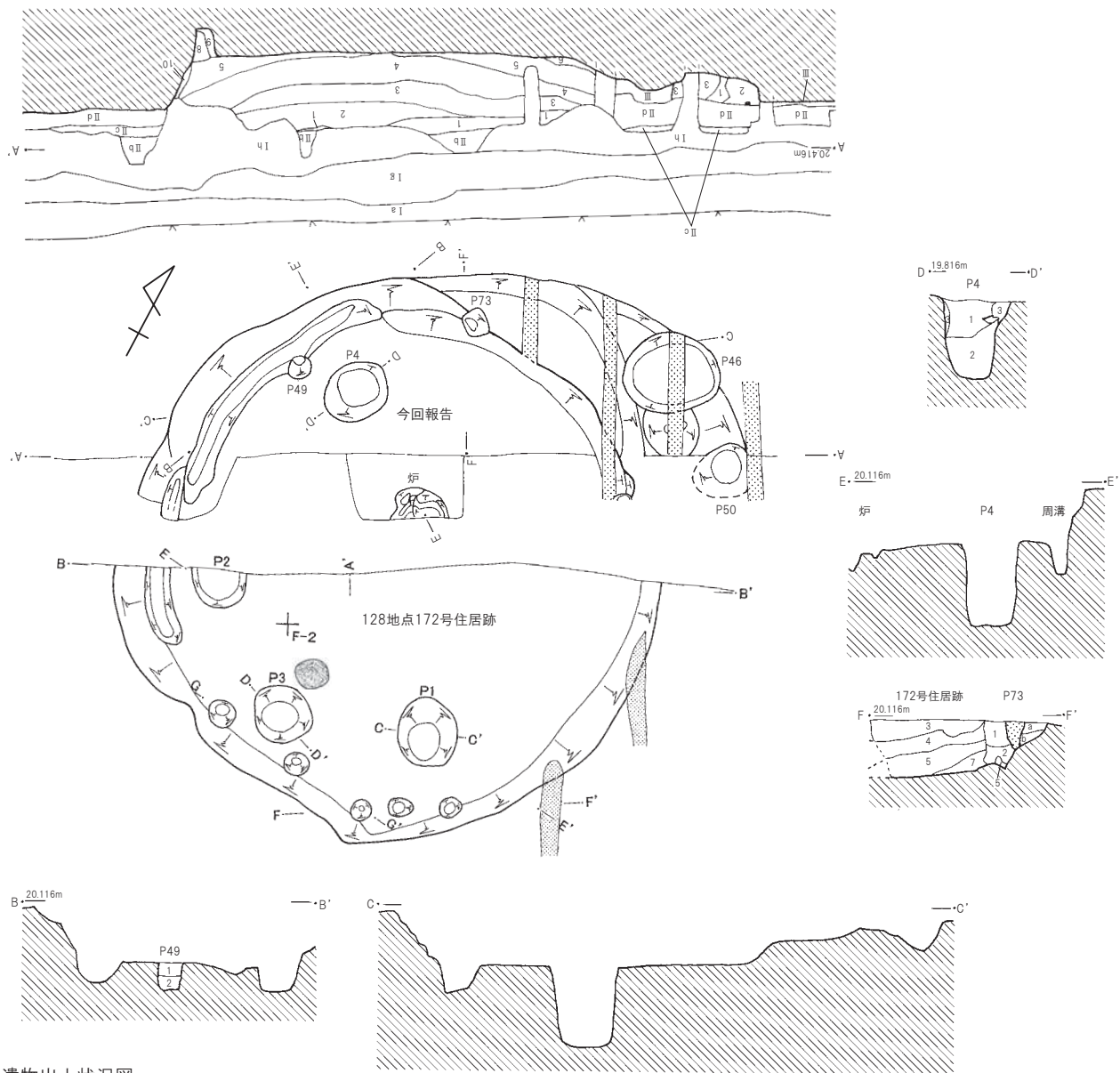
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含む
 - 2.黒褐色土 締り強、粘性有、1層より黒色味が強い、ローム粒(3mm以下)少し含む
 - 3.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含み色調黄色味がある
- ピット49
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 - 2.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(4cm大)少し、うっすら斑状にローム粒(5mm以下)多く含む

ピット73

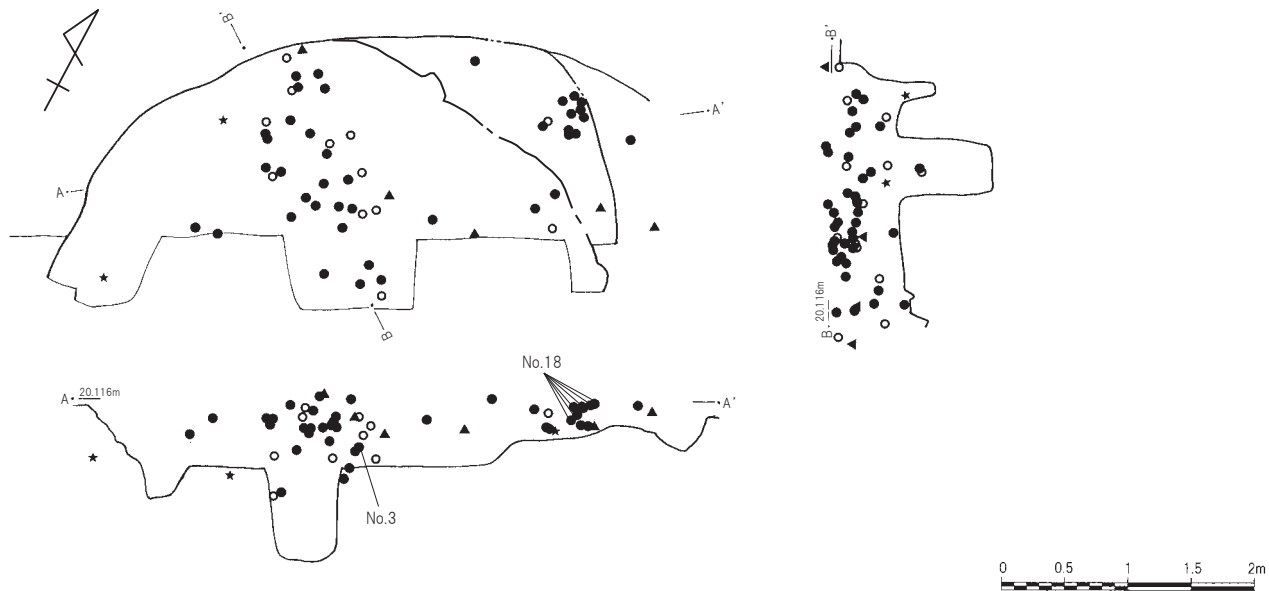
- a.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)僅かに含む
- b.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム粒(3mm以下)少し含む
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(2mm以下)少し含む、色調は2層より明るく、包含層の暗オリーブ褐色土に近い
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)・ローム粒(2mm以下)やや多く含む
- 5.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にロームブロックを多く含む

第 55 図 西ノ原遺跡第 147・148 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)

172号住居跡

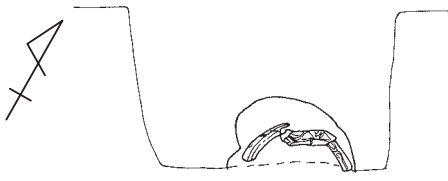


遺物出土状況図

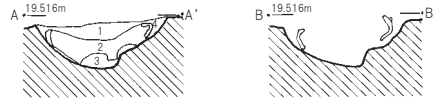
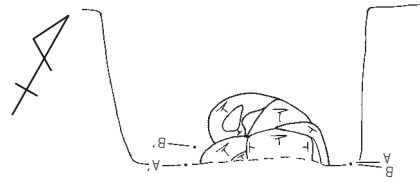


第56図 西ノ原遺跡第147地点172号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)

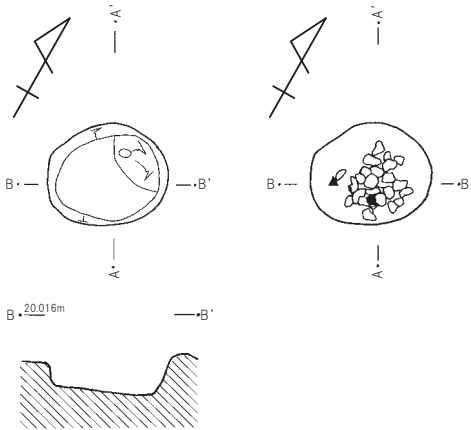
炉体土器



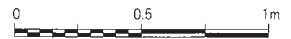
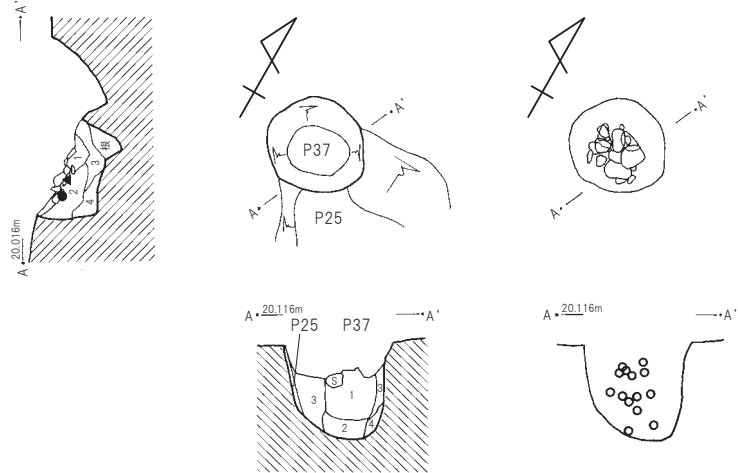
掘方



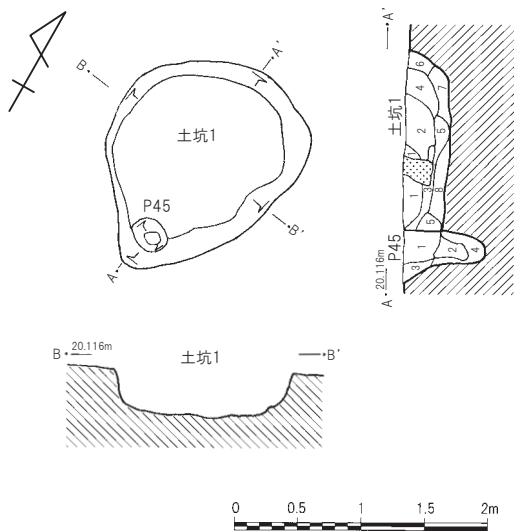
集石土坑1



集石土坑2(P37)



土坑1・P45



集石土坑1

- 1. 暗オリーブ褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
- 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、焼土・炭化物(1mm以下)僅かに含む
- 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
- 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うすすら斑状にロームブロック(5~10mm)やや多く含む

ピット37

- 1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、炭化物(2mm以下)少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、炭化物(2mm以下)・斑状のロームブロックやや多く含む
- 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)僅かに含む
- 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)・ローム粒(3mm以下)やや多く含む

土坑1・2

- 1. 黒褐色土 締りやや弱め、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
- 2. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)やや多く含む、焼土(2mm以下)少し含む
- 3. 黒褐色土 ロームブロック・粒(5mm以下)少し含む
- 4. 黒褐色土 ロームブロック(1cm大)・ローム粒(3mm以下)少し含む
- 5. 暗オリーブ褐色土 ローム粒(3mm以下)ブロック状に少し含む
- 6. 暗オリーブ褐色土 ローム粒をうすすら斑状に少し含む
- 7. 黒褐色土 ロームブロック(1~2cm)うすすら斑状にやや多く含む
- 8. 暗オリーブ褐色土 ロームブロック(5mm大)少し、ローム土を斑状に多く含む

ピット45

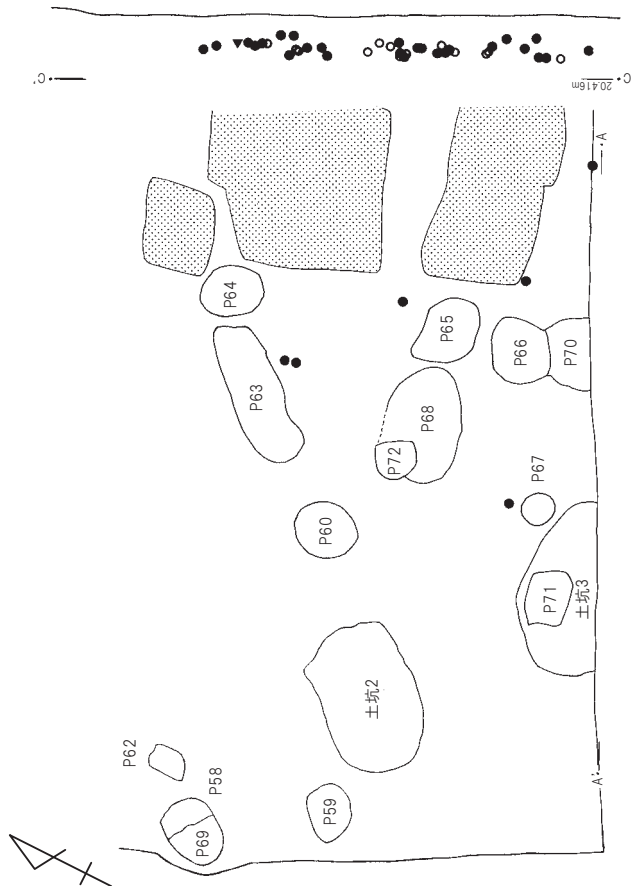
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(2mm以下)少し含む、色調は2層より明るく、包含層の暗オリーブ褐色に近い
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)・ローム粒(2mm以下)やや多く含む、P56・71などで炭化物含む
- 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うすすら斑状にローム土、ローム粒(1mm以下)少し含む
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)多く含む

炉体土器

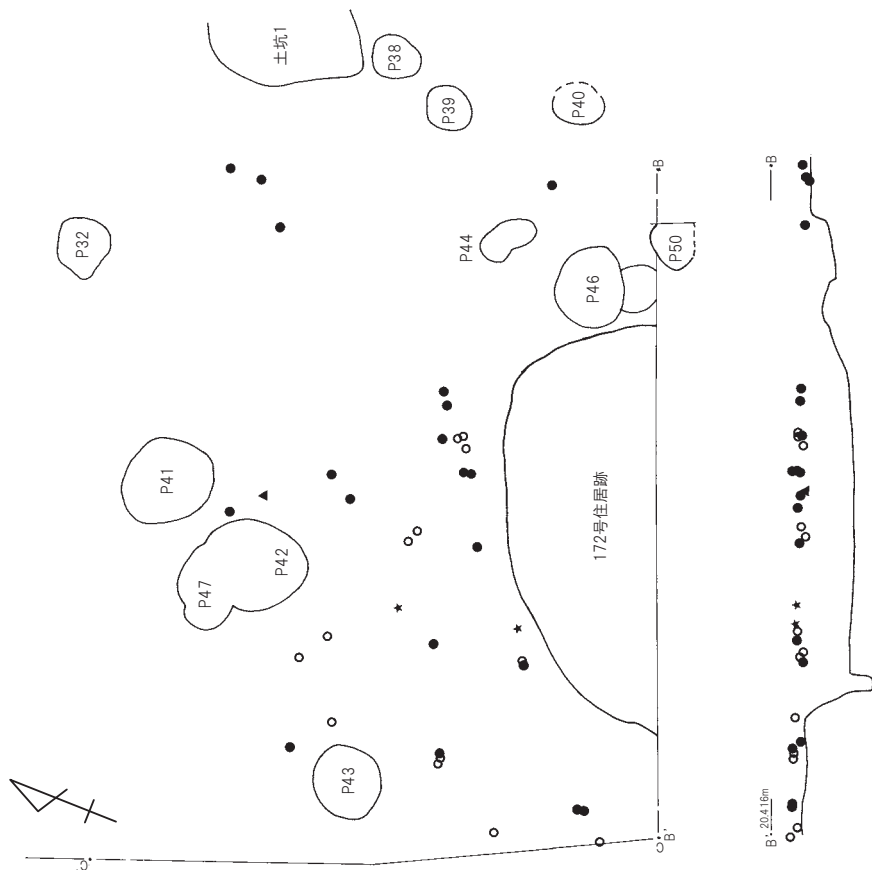
- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm大)少し、焼土(3mm以下)多く、炭化物(1mm以下)やや多く含む、炉体を押し潰している
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム(3~7mm)・炭化物(3mm以下)やや多く、焼土(1cm以下)多く含む
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)やや多く、焼土(2mm以下)少し含む
- 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、炉体外側の充填土、1mm以下ローム粒やや多く、炭化物(1mm以下)少し含む

第 57 図 西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡・炉・掘方・集石土坑 (1/30)、土坑・ピット (1/60)

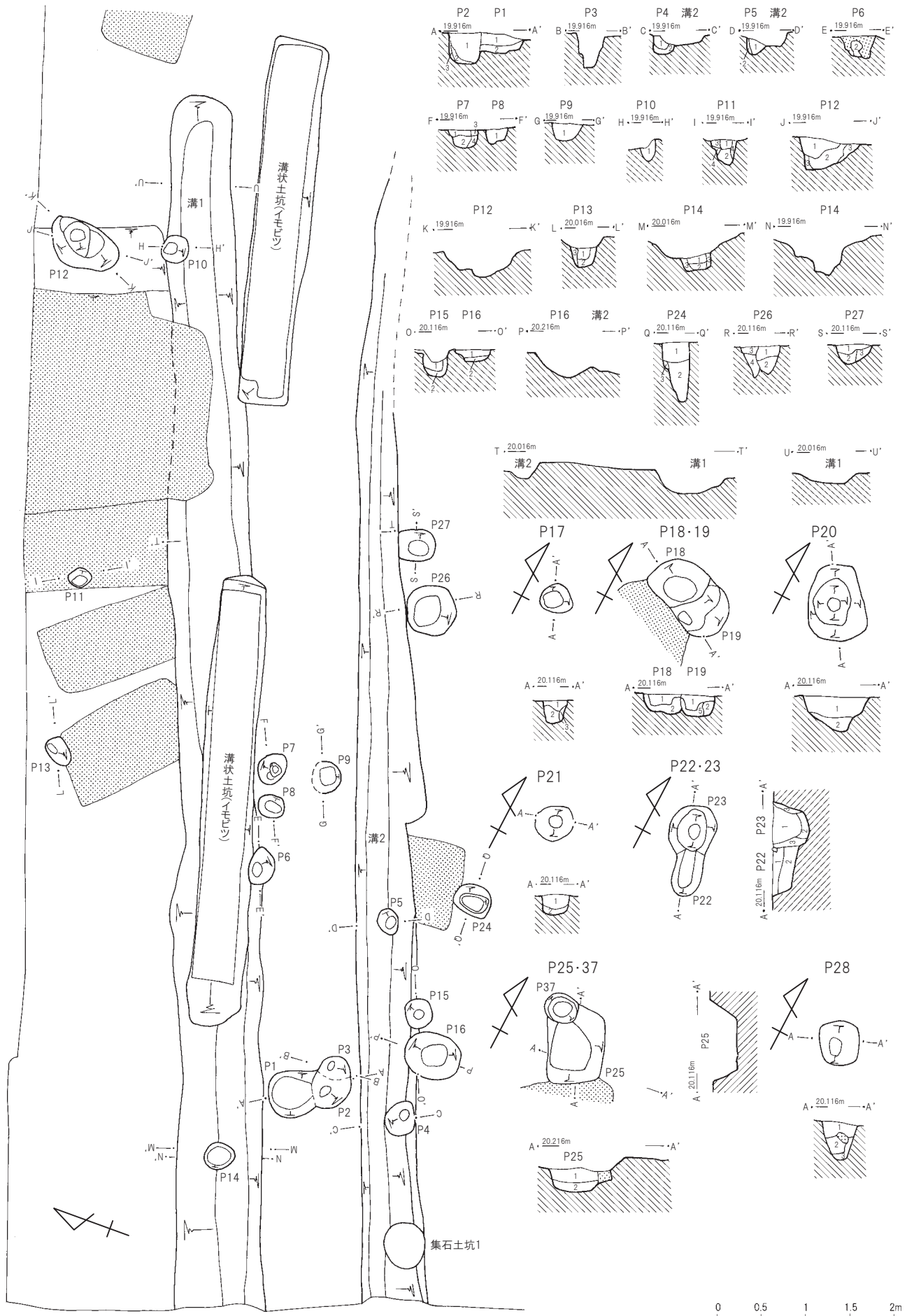
148地点



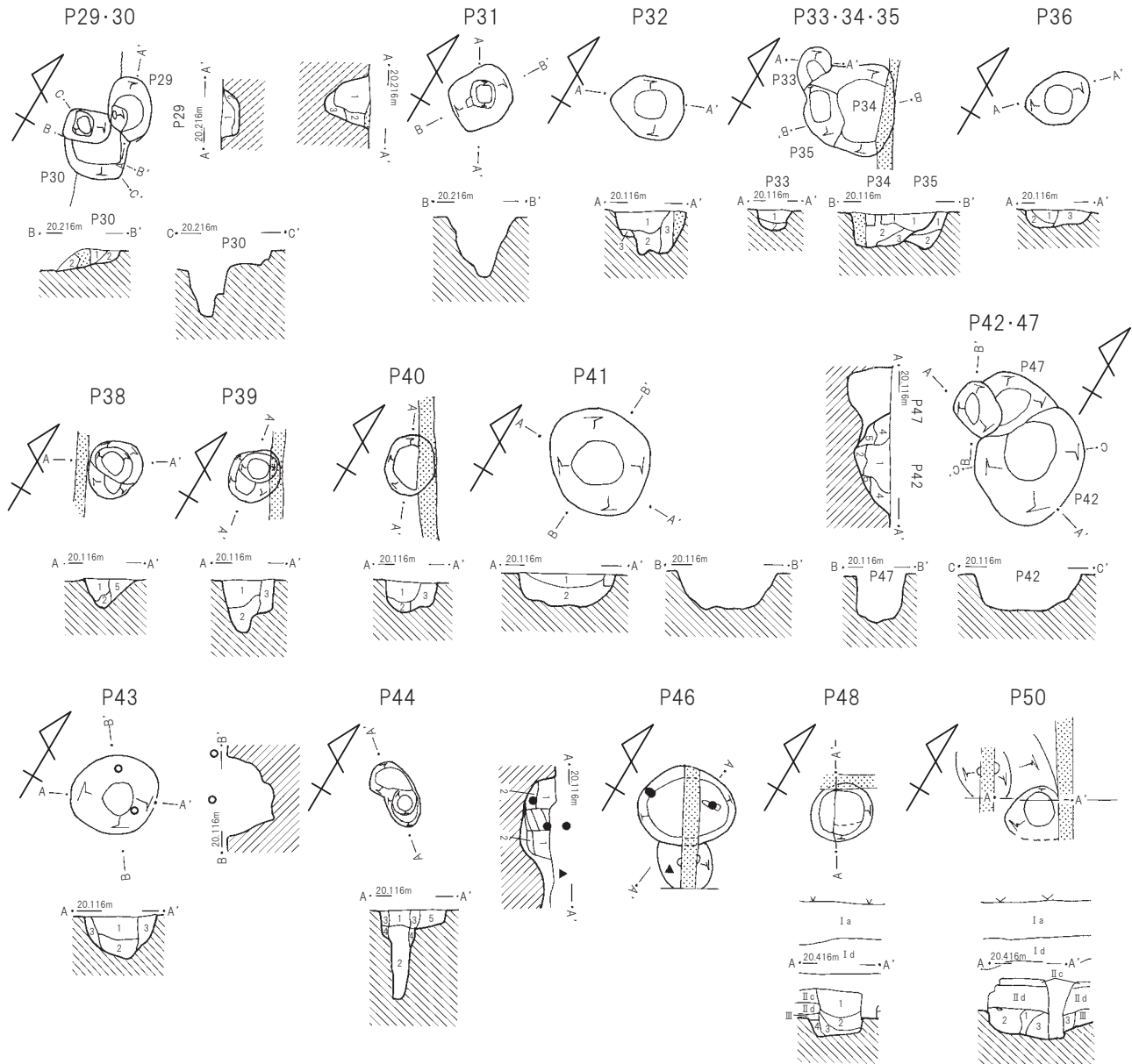
147地点



第58図 西ノ原遺跡第147・148地点遺構外遺物出土状況図(1/80)



第 59 図 西ノ原遺跡第 147 地点ピット・溝 (1/60)



ピット1・4・5・8・9・14・15・17・20・21・22・24・29・30・33・46・60・61・63・66・67・68

1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)僅かに含む
 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調1層より暗く、ロームブロックうっすら斑状に、ローム粒(5mm以下)少し含む

3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含み色調明るい

ピット2・6・12・16・18・23・27・28・31・36・41・42・43・50・58・72

1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)僅かに含む
 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)・ローム粒(3mm以下)をやや多く含む
 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)を僅かに含む
 5. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調4層より暗く、ロームブロックうっすら斑状に、ローム粒(5mm以下)少し含む

ピット7・10・11・13・38

1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む
 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調1層より暗く、ロームブロック(5mm)・ローム粒(3mm以下)少し含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調3層より暗く、ローム粒(2mm以下)少し含む
 5. 暗黄褐色土 うっすら斑状にロームブロック多く含む

ピット19・39・40・44・45・51・52・54・56・57・59・62・64・65・69・70・71・73

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(2mm以下)少し含む、色調は2層より明るく、包含層の暗オリーブ褐色に近い
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)・ローム粒(2mm以下)やや多く含む、P56・71などで炭化物含む
 2'. 黒褐色土 締り強、粘性有、2層よりロームブロック、もしくは斑状にローム土を多く含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土、ローム粒(1mm以下)少し含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)多く含む
 5. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にロームブロック多く含む

ピット25・34・35

1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)・炭化物(2mm以下)少し含む
 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm大)やや多く含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)僅かに含む
 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調3層より暗く、ロームブロックうっすら斑状に、ローム粒(5mm以下)少し含む

ピット26・32・37

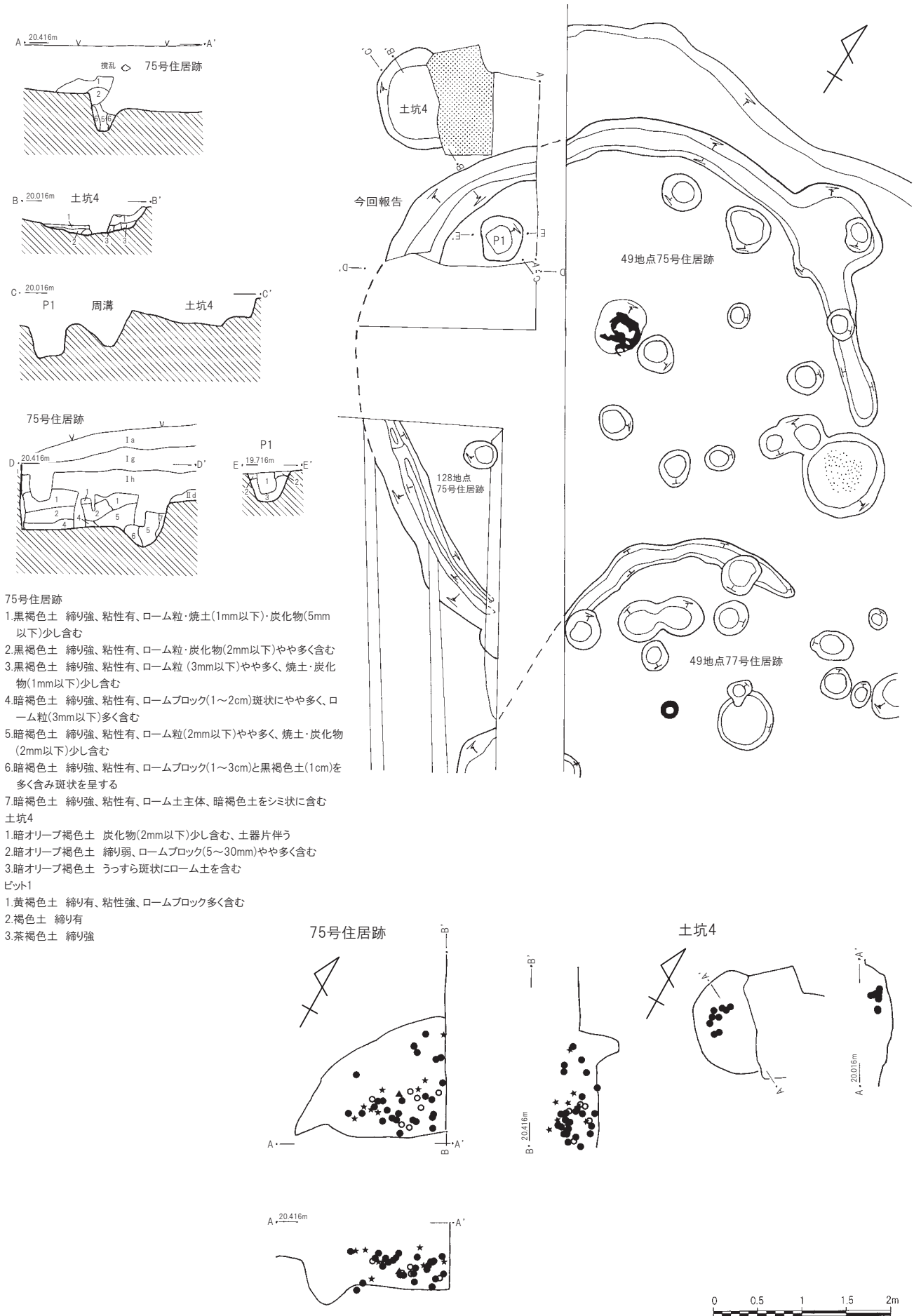
1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、炭化物(2mm以下)少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、炭化物(2mm以下)・斑状のロームブロックやや多く含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)僅かに含む
 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)・ローム粒(3mm以下)やや多く含む

ピット48

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、焼土(2mm以下)やや多く含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、焼土(3mm以下)やや多く含む
 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm大)多く、焼土(2mm以下)少し、斑状に黒褐色土を含む
 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)、焼土・炭化物(1mm以下)少し含む(Ⅲ層下に潜り込むような堆積)



第 60 図 西ノ原遺跡第 148 地点 ピット・溝 (1/60)



75号住居跡

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(1mm以下)・炭化物(5mm以下)少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・炭化物(2mm以下)やや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く、焼土・炭化物(1mm以下)少し含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1~2cm)斑状にやや多く、ローム粒(3mm以下)多く含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)やや多く、焼土・炭化物(2mm以下)少し含む
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1~3cm)と黒褐色土(1cm)を多く含む斑状を呈する
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、暗褐色土をシミ状に含む土坑4
1. 暗オリーブ褐色土 炭化物(2mm以下)少し含む、土器片伴う
2. 暗オリーブ褐色土 締り弱、ロームブロック(5~30mm)やや多く含む
3. 暗オリーブ褐色土 うっすら斑状にローム土を含むピット1
1. 黄褐色土 締り有、粘性強、ロームブロック多く含む
2. 褐色土 締り有
3. 茶褐色土 締り強

第 61 図 西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡・土坑・ピット・遺物出土状況図 (1/60)



第62図 西ノ原遺跡第148地点土坑・ピット(1/60)

集石土坑 2 は 147 地点の調査区中央に位置する。加曾利 E 式の土器片が出土した。時期は出土遺物から縄文時代と思われる。

土坑・ピット

土坑 4 基、ピット 71 基検出した。

溝

2 条検出した。いずれも東西方向の溝で、土地境に重なる。1.15 m 離れて平行する。

溝 1 は 147・148 調査区北側で 16 m 検出した。上幅 35 ~ 55 cm、下幅 15 ~ 20 cm、確認面からの深さ 11 ~ 18 cm である。

溝 2 は 147・148 調査区北側で 14 m 検出した。溝状土坑（イモビツ）に壊される。上幅 70 ~ 95 cm、下幅 30 ~ 55 cm、確認面からの深さ 13 ~ 28 cm である。

第 37 表 西ノ原遺跡第 147・148 地点 ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	不明	53 × (50)	(45) × 37	25.0	
P2	不明	41 × (34)	15 × 10	40.9	
P3	不明	37 × (25)	10 × 7	36.9	
P4	方形	37 × 34	11 × 10	25.8	
P5	円形	28 × 22	11 × 8	21.6	
P6	楕円形	43 × 29	18 × 10	25.3	
P7	円形	33 × 31	8 × 6	37.4	
P8	方形	30 × 25	19 × 11	18.2	
P9	円形	36 × 32	20 × 18	25.3	
P10	方形	30 × 29	15 × 13	26.1	
P11	方形	22 × 21	12 × 12	39.8	
P12	楕円形	84 × 51	17 × 14	36.2	
P13	方形	35 × 22	12 × 6	46.8	
P14	円形	34 × 30	25 × 21	26.6	
P15	方形	32 × 30	11 × 11	33.6	
P16	方形	64 × 50	30 × 24	24.0	
P17	方形	33 × 33	20 × 19	28.4	
P18	不明	57 × (55)	37 × 29	26.3	
P19	不明	60 × (46)	18 × 10	25.2	
P20	方形	86 × 70	11 × 10	42.3	
P21	円形	43 × 39	16 × 15	23.5	
P22	不明	(54) × 32	(43) × 15	31.6	
P23	不明	51 × (51)	19 × 12	42.5	
P24	方形	41 × 34	25 × 15	58.0	
P25	方形	90 × 63	52 × 45	35.4	
P26	円形	57 × 56	31 × 29	32.6	
P27	方形	42 × 37	23 × 16	22.9	
P28	方形	50 × 45	19 × 13	48.7	
P29	不明	57 × 39	8 × 3	33.6	
P30	不明	59 × 57	16 × 12	59.6	
P31	方形	57 × 49	17 × 14	55.1	
P32	方形	65 × 55	28 × 25	40.2	
P33	不明	35 × (26)	(17) × 14	19.4	
P34	不明	82 × (76)	58 × (41)	33.2	
P35	不明	(59) × (33)	27 × 17	32.5	
P36	楕円形	60 × 43	25 × 25	21.6	
P37	円形	37 × 33	23 × 18	39.3	
P38	円形	53 × 47	21 × 18	30.5	
P39	円形	50 × 45	19 × 19	53.4	
P40	円形	54 × 43	40 × 20	31.2	
P41	円形	96 × 89	47 × 41	32.4	
P42	(円形)	104 × 93	55 × 45	34.2	
P43	円形	77 × 71	29 × 29	44.1	
P44	ひょうたん形	62 × 30	15 × 13	83.2	
P45	方形	28 × 23	15 × 11	67.4	
P46	円形	75 × 74	60 × 50	26.9	
P47	方形	47 × 36	29 × 14	47.0	
P48	円形	55 × 52	40 × 40	14.9	
P49	円形	22 × 20	12 × 8	27.7	
P50	不明	53 × 50	30 × 27	23.3	
P51	楕円形	80 × 51	24 × 18	32.1	
P52	円形	53 × 48	34 × 28	40.4	
P53	欠番				
P54	ひょうたん形	101 × 70	49 × 46	42.0	
P55	欠番				
P56	方形	65 × 65	38 × 31	48.9	
P57	楕円形	76 × 48	23 × 22	43.6	
P58	不明	55 × (29)	22 × 13	32.1	
P59	方形	55 × 45	24 × 15	45.4	
P60	円形	69 × 59	52 × 34	32.2	
P61	不整形	103 × 77	75 × 51	17.6	
P62	方形	42 × 27	4 × 3	121.2	
P63	楕円形	160 × 55	11 × 7	32.9	
P64	円形	66 × 52	38 × 27	32.4	
P65	楕円形	86 × 63	23 × 23	53.7	
P66	円形	69 × 61	41 × 33	32.2	
P67	円形	40 × 35	23 × 13	25.2	
P68	楕円形	123 × 83	92 × 60	25.4	
P69	不明	55 × (43)	19 × 9	68.2	
P70	不明	80 × (42)	27 × (15)	45.2	
P71	方形	58 × 48	31 × 28	20.2	
P72	方形	43 × 41	23 × 20	25.7	
P73	方形	23 × 20	14 × 7	16.9	

第 33 表 西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	円形	61 × 50	34 × 30	73.9	

第 34 表 西ノ原遺跡第 147 地点集石土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
集石土坑 1	円形	47 × 41	4 × 4	32.9	

第 35 表 西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	方形	50 × 46	37 × 29	40.2	

第 36 表 西ノ原遺跡第 148 地点土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑 1	円形	187 × 147	140 × 124	38.6	
土坑 2	楕円形	158 × 104	106 × 67	32.2	
土坑 3	不明	184 × (85)	157 × 77	32.5	
土坑 4	不明	115 × (69)	86 × (57)	33.1	

172号住居跡出土遺物

1は、1/4現存、2は3/4現存。2の不足箇所を1で補い組み合わせて炉体土器として使われたもの。1は口径29cm。Lrの撚糸文を施文した後、粘土紐で口縁部文様帯の上下の区画を貼り付け、その間にS字状文と十字状文を貼り付けたもの。2は口径37cm。地文はLrの撚糸文。粘土紐で口縁部文様帯を上下区画し、その間、渦巻きあるいはS字状の文様を貼り付けたもの。口縁部に図示左半分に突出部がある。突出部は下部の文様が接する箇所に付けられ、現存では4ヶ所に認められ、欠損部にも想定され、全体では5ヶ所(5単位)になるのは確実である。

3は、2004年度調査によって、出土した土器と今回の調査で出土した土器が接合し、全形が判明した。口縁部2/5、胴部1/2現存。口径39.5cm。地文はLRの単節。口唇部は1cmほど外側にくの字状に突出させ古い段階の要素であるが、全体に丸みがあって名残がうかがえる。口縁部文様帯は図示正面の半渦巻き文と図示左端の渦巻き文は、上向きに張り出す「張出渦巻き文」である。この「張出渦巻き文」は、2ヶ所しか現存しないが、ちょうど全周の1/5に配置されていることから5単位の土器文様と推察してみた。胴部文様は、隆帯とその脇に波状平行沈線文による「U」字文を施し、その中央に隆帯で上部を弓なり十字文で組んだ懸垂文を加えている。この「U」字文は、全く同じ文様構成で2/3の胴部に2ヶ所見られることから、胴部文様は3単位文様と推察される。

覆土から勝坂式末期から加曽利E式の土器破片が出土している。4・5は勝坂式末の土器で、4は、口縁部と胴部を隆帯で区画し、斜めの刻みを施したものの、5は、口縁部文様帯を丸い工具で押圧した棒状隆帯をめぐらせたもので、当地域の地域性の強い土器。6は、加曽利E式で口縁部文様に渦巻き文で、7は口縁部文様帯中央に当たる渦巻き文の連結で、地文に撚糸文Lrを施している。8、9は上記の土器の胴部破片で非常に細かい撚糸文Lrを施している。10は、口縁部文様を沈線で重ね渦巻き文、いわゆるブラジャー土器と言われていたものである。

11、12は、加曽利E式の古段階の連弧文土器。いずれも地文が条線である。11は口縁部内側に隆帯を加飾して『フ』の字状にしたもの、12は連弧文が流れている。

13・14は、加曽利E式の浅鉢形土器。13は沈

線で平行線を描き、沈線文と同じ刻みを施す、14は器面表面が非常に研磨され、渦巻き文がなだらかに施文されている。

15は底部に近い土器で、隆帯の脇に沈線でナゾリが施されたもの、16・17は底部破片で、16は撚糸文Lrが施文。

18は、打製石斧。撥形完形。長さ10.4cm、最大幅6.2cm、最大厚1.6cm重さ126g。左側側面には大きく自然面が残り、右図には横剥ぎの第一次剥離痕が残る。側面調整は、細かく施され、両側面の紐ずれ使用痕が顕著である。石質は、ホルンフェルスである。

19は、自然石を利用した敲き石である。長さ11cm、最大幅4.8cm、最大厚3.2cm、重さ289g。右側面には、図面中央部に図示したように平坦な磨り面がある。石質は、硬質砂岩である。

住居外出土土器

20は、172号住居跡の北西部の壁外で、二重の段がついたピット46に隣接した箇所からまとまって出土したものを復元した。加曽利E式で住居跡よりも新しい。口径25cm(1/2現存)。丸く太い沈線で文様が付けられ、地文はRLの単節縦回転である。口縁部文様は渦巻きと楕円文の組み合わせによる。現存部に3個の渦巻き文が認められる。このうち2個の渦巻きが内から外へ右巻き、他の1個は内から外へ左巻きである。全体では5単位となると推察される。懸垂文は、残存箇所では渦巻き文に対応していて、懸垂文上端は「U」字状に連結している。風化が激しく器面内面の剥落から炉体土器に使われたものが廃棄されたか。集石土坑1出土遺物

1は、加曽利E式、口頸部から胴部にかけての土器で、胴部の粘土紐による大きな渦巻き文がうかがえる。地文に撚糸文Lr。

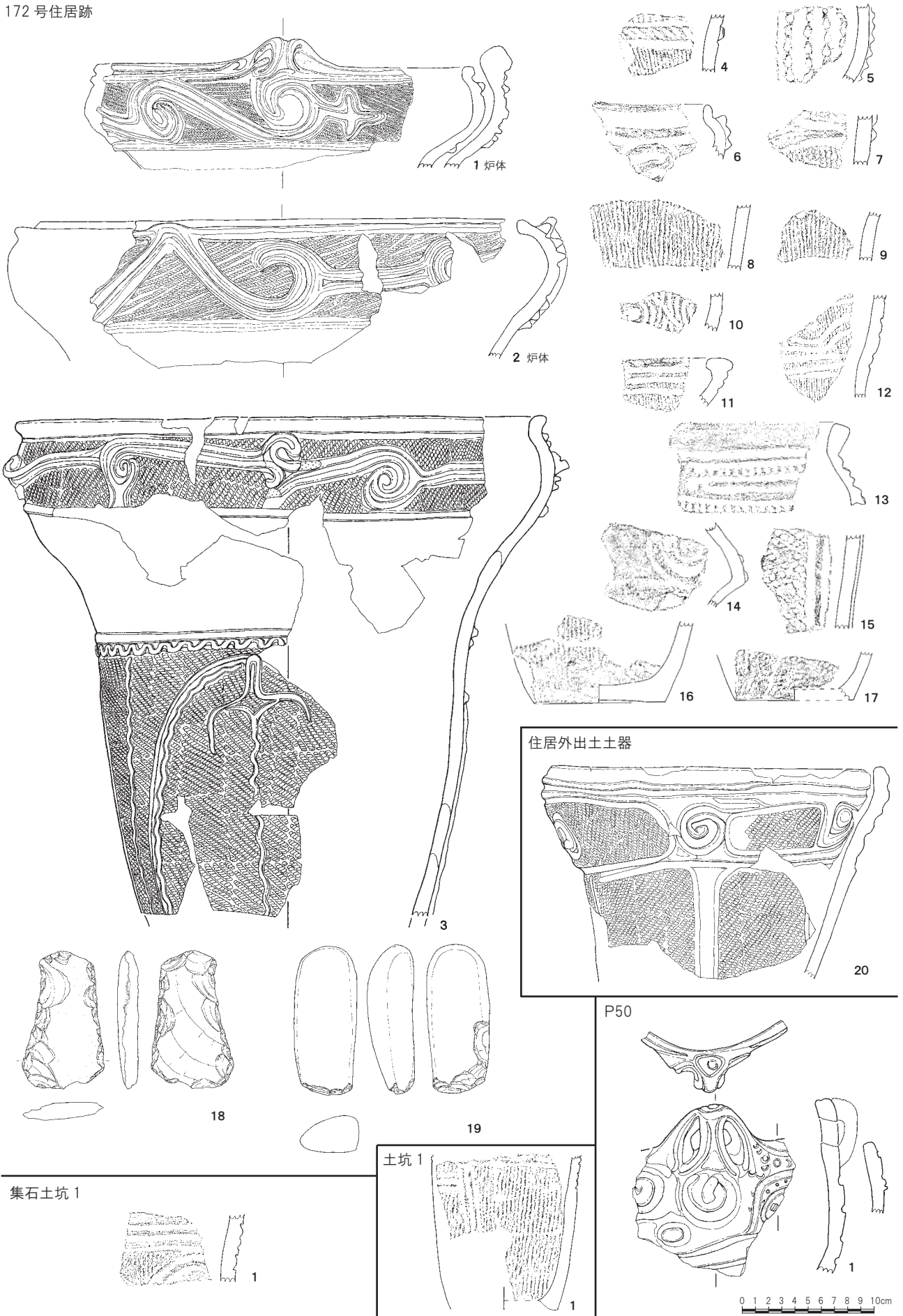
土坑1出土遺物

1は、加曽利E1式。胴部下半で、地文に撚糸文Lr。半截竹管による懸垂文で、二重に描いたもの。横位にも連結している。

ピット50出土遺物

1は、樽形になる、唐草文系の土器。色調濃い赤茶色。突起は加曽利E式の172号住居出土の炉体土器1に似る。その下に単独の渦巻き文を付ける。口縁部上方に竹管を垂直に押しつけて円形文を加えている。器面の外面は磨かれているため観察できないが、内面には、白色の小砂利が多量に混じるのが観察される。

172 号住居跡



第 63 図 西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡・集石土坑・土坑・ピット出土遺物 (1/4)

遺構外出土遺物

遺構外からは、勝坂期から加曾利E式まで出土している。いずれも小片である。1は、勝坂式の胴部破片。胴部の文様を隆帯により区画し、隆帯は大きく耳状に隆起して刻みが付けられている。2は、勝坂式土器。キャリパー状の器形でRLの単節を斜め回転し、条が縦になる。内面は竹管工具で抉られている。3は、曾利系の土器、胴部下半で隆帯による蛇行懸垂文が付く。蛇行沈線は半截竹管工具で帯の側面を交互に押圧したもの。4はキャリパーの器形に沈線で重ね渦巻き文をつけたもの、5は、大形の有孔鏝付き土器かもしれないが不明。大きな二重の渦巻き文の間を、半截竹管状の工具で交互に斜め下方から上方に向けて刺突したものの。

6は、打製石斧である。上半部は欠損している。上部に若干のくびれがある短冊形。刃部は丸く調整されている。最大幅5.2cm、厚さ1.3cm。石質は、片岩である。

7は、大形石匙と思われる。図左側に大きな自然面を残し、側面にくびれを施して上端につまみ部を作る。長さ8.2cm最大幅5.3cm、重さ86g。石質は、

ホルンフェルスである。

8は、自然石を利用した敲き石である。長さ9.5cm、最大幅4.3cm、最大厚3.3cm、重さ230g。下端部全面に敲き痕がある。石質は、硬質砂岩である。

9は、自然石で、下端部に敲き痕がある敲き石である。長さ9.3cm、最大幅6.0cm、最大厚2.2cm重さ197g。石質は、硬質砂岩である。

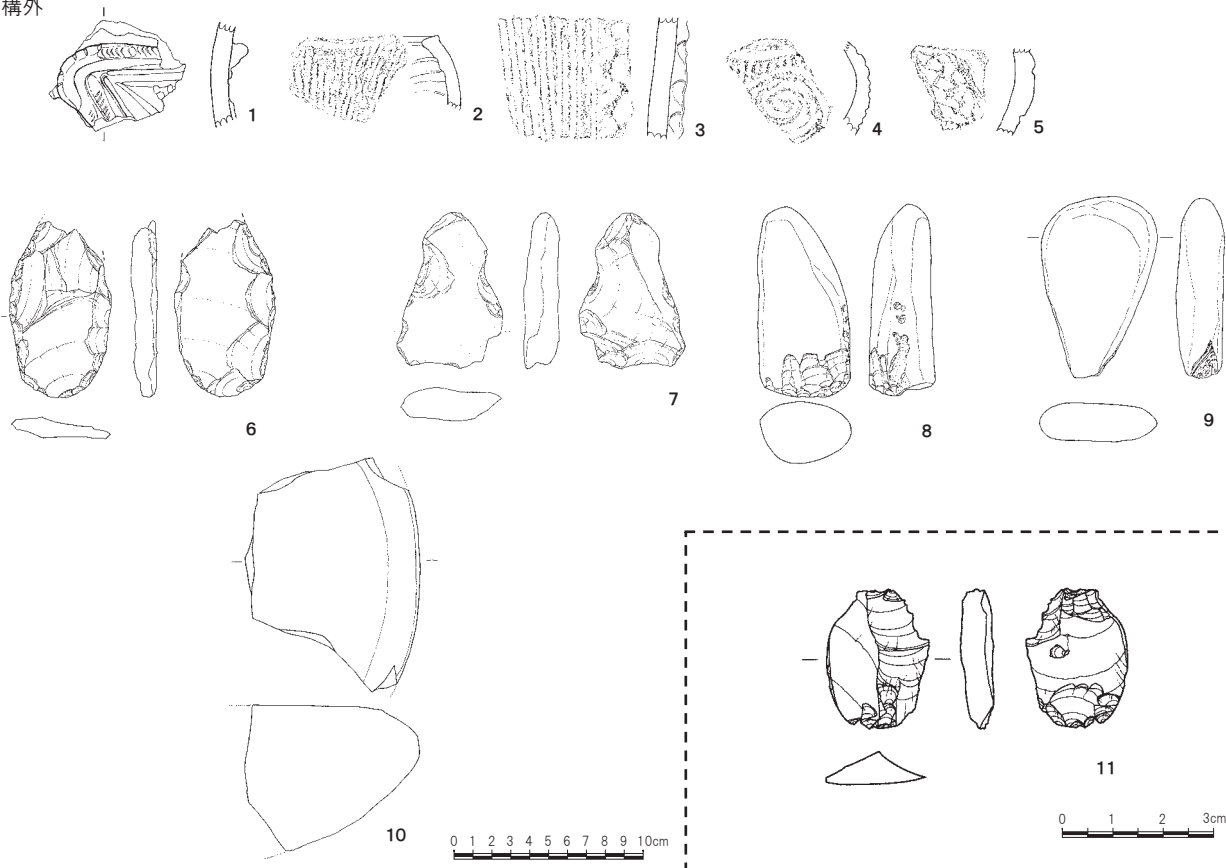
10は、石皿の破片である。石皿表面は、微かにくぼんでいる。石質は、閃緑岩である。

11は、剥片である。石質は、気泡が多い黒曜石である。調整途中で破棄したものか。

75号住居跡出土遺物

1は、口縁部文様帯が上半部に集中し、粘土紐による渦巻き文と交互刺突文をほどこされたもので勝坂末期の土器 2は、胴部上半の土器で口縁部が欠。条線を縦に施文のみの土器、勝坂式土器。3は勝坂式土器。単節RLを斜め下方に回転し、条が縦になったもの。4は、加曾利E式の胴部破片、地文はRLの単節。半截竹管による緩い蛇行懸垂文がつく。5・6は無文の浅鉢形土器。勝坂期。7は、台付き土器の台の部分。無文で台の下端に沿って突出させたもの。8・

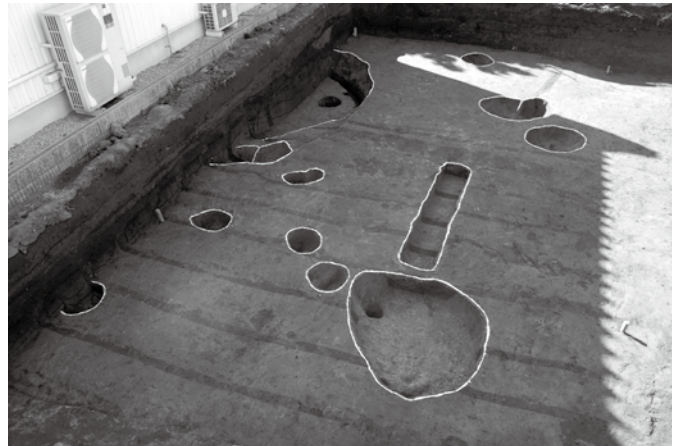
遺構外



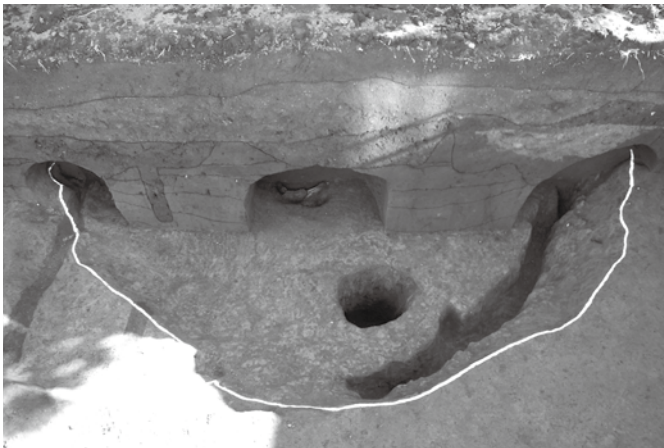
第64図 西ノ原遺跡第147地点遺構外出土遺物(2/3・1/4)



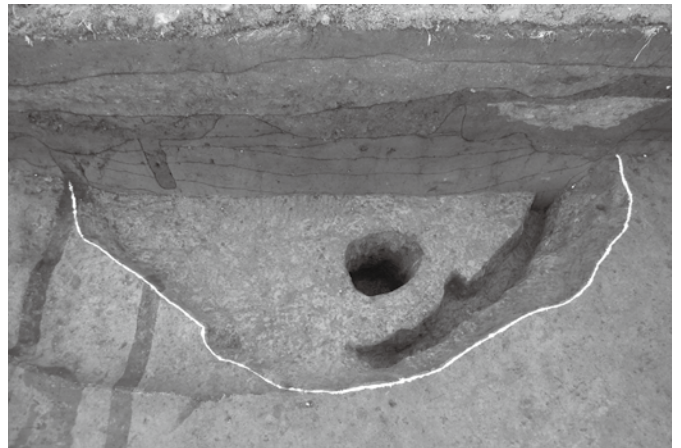
西ノ原遺跡第 147 地点中央部全景



西ノ原遺跡第 147 地点南側全景



西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡全景



西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡土層



西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡炉



西ノ原遺跡第 147 地点集石土坑 2(ピット 37)

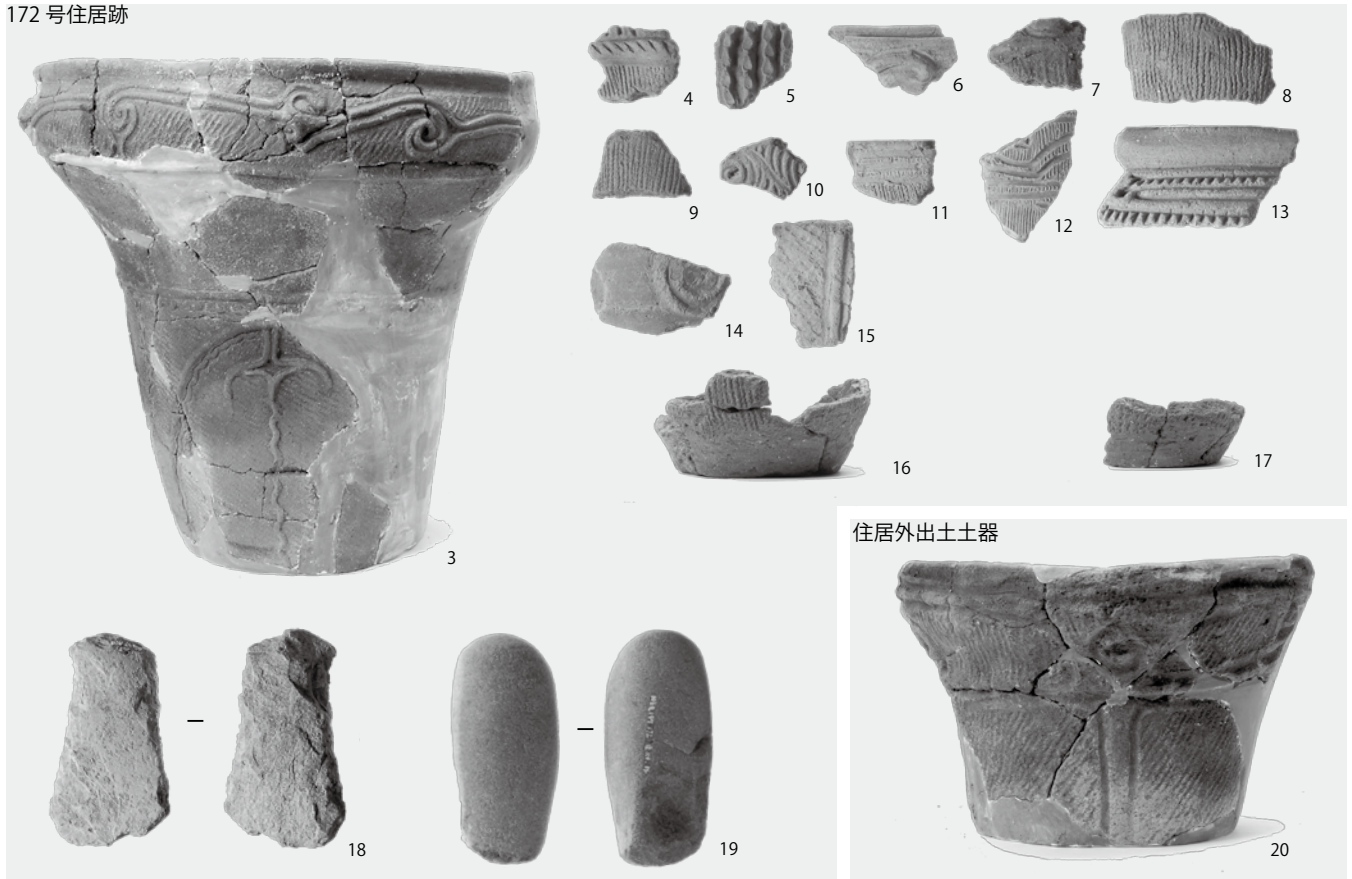


西ノ原遺跡第 147 地点集石土坑 1



西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡出土遺物

172 号住居跡



住居外出土土器

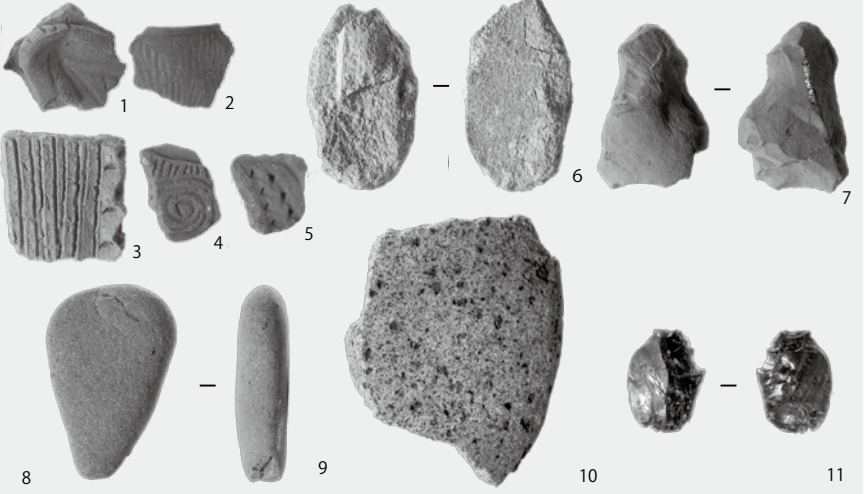
集石土坑 1



土坑 1



遺構外



P50



西ノ原遺跡第 147 地点出土遺物



西ノ原遺跡第 148 地点全景中央



西ノ原遺跡第 148 地点全景南